

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

09/477811

25

CLIPPEDIMAGE= JP408084192A

PAT-NO: JP408084192A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08084192 A

TITLE: CONNECTING METHOD FOR TELEPHONE CONFERENCE

PUBN-DATE: March 26, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SATO, SHIGERU

ITO, MASASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD

N/A

APPL-NO: JP06217304

APPL-DATE: September 12, 1994

INT-CL (IPC): H04M003/56

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a connecting method for a telephone conference capable of connecting the terminals of conference participants by a simple procedure relating to the connection method at the time of connecting the plural terminals housed in plural exchanges and performing the telephone conference.

CONSTITUTION: A conference convocation terminal sends out an ID number and the

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-84192

(43) 公開日 平成 8 年 (1996) 3 月 26 日

(51) Int.Cl.⁹

H 0 4 M 3/56

識別記号

庁内整理番号

A

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願平6-217304

(22) 出願日 平成 6 年 (1994) 9 月 12 日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72) 発明者 佐藤 茂

宮城県仙台市青葉区一番町 3 丁目 3 番 5 号

富士通東北通信システム株式会社内

(72) 発明者 伊藤 雅志

宮城県仙台市青葉区一番町 3 丁目 3 番 5 号

富士通東北通信システム株式会社内

(74) 代理人 弁理士 井桁 貞一

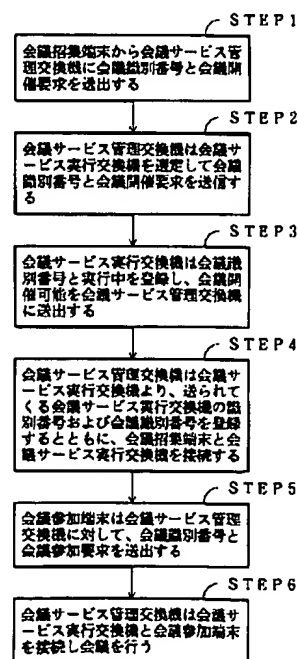
(54) 【発明の名称】 電話会議の接続方法

(57) 【要約】

【目的】 本発明は複数の交換機に収容される複数の端末を接続して電話会議を行うときの接続方法に関し、簡単な手順で、会議参加者の端末の接続を行うことのできる電話会議の接続方法を実現することを目的とする。

【構成】 S 1 で会議招集端末は会議サービス管理交換機に I D 番号と電話会議の開催要求を送出し、S 2 で会議サービス実行交換機を選定して、該 I D 番号と会議開催要求を送出し、S 3 で会議サービス実行交換機は、受信した I D 番号、および会議実行中を登録し、会議開催可能を会議サービス管理交換機に通知し、S 4 で受信した会議サービス実行交換機番号と I D 番号を登録し、会議招集端末と会議サービス実行交換機を接続する。S 5 で会議参加端末は会議サービス管理交換機に会議識別番号と会議参加要求を送出し、S 6 で会議サービス管理交換機は会議サービス実行交換機と会議参加端末を接続して会議を行うように構成する。

本発明の原理を説明する図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の交換機に收容される複数の端末を接続して電話会議を行うときの接続方法であって、会議招集端末は会議サービス管理交換機に会議識別番号と電話会議の開催要求を送出し（STEP1）、前記会議サービス管理交換機は、会議サービスの実行が可能な会議サービス実行交換機を選定して、該会議識別番号と会議開催要求を送出し（STEP2）、前記会議サービス実行交換機は、会議開催が可能とな

とき、前記会議サービス管理交換機から送信されてくる該会議識別番号、および会議実行中を登録するとともに、会議開催可能を前記会議サービス管理交換機に通知し（STEP3）、前記会議サービス管理交換機は、前記会議サービス実行交換機から送られてくる会議サービス実行交換機番号と会議識別番号を登録するとともに、会議招集端末と前記会議サービス実行交換機とを接続し（STEP4）、会議参加端末は前記会議サービス管理交換機に対して会議識別番号と会議参加要求を送出し（STEP5）、前記会議サービス管理交換機は前記会議サービス実行交換機と会議参加端末とを接続して会議を行う（STEP6）、

ことを特徴とする電話会議の接続方法。

【請求項2】 会議招集端末は前記会議サービス管理交換機に会議識別番号と電話会議の開催要求を送出し、前記会議サービス管理交換機は会議サービスを実行可能な前記会議サービス実行交換機を選定し、前記会議開催要求交換機に前記会議サービス実行交換機の識別番号を通知した後、切断し、会議招集端末は会議サービス実行交換機番号と会議参加特番と会議識別番号で発信して、会議に参加状態となり、会議参加端末は会議サービス管理交換機番号、会議参加特番および会議識別番号を送出し、前記会議サービス管理交換機は前記会議サービス実行交換機を抽出し、その識別番号を通知した後切断し、会議参加端末は会議サービス実行交換機番号と会議参加特番と会議識別番号で発信して、会議に参加状態とする、

ことを特徴とする電話会議の接続方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は複数の交換機に收容される複数の加入者が電話会議を行うときの接続方法に関する。

【0002】 電子交換機のサービスの一つとして、電話会議が実用化されている。これは、複数の端末が構内電子交換機を介して、同時に通話を行うことにより、それぞれの会議参加者が自分の席に在席のままで簡単に会議を行うものである。

2

【0003】 電子交換機による電話会議は複数の会議参加者を会議トランクを介して接続して実行しており、逆に言えば、電話会議を行う電子交換機は会議トランクを備えていることが必要である。

【0004】 このような電話会議を複数の電子交換機を介して行う場合には、会議招集者は複数の電子交換機の中の電話会議が可能なものを前以って調べておき、その電子交換機を介して複数の電子交換機に收容される会議参加者を接続して会議を行うことが必要である。

【0005】 ネットワークが大規模になってくると、このような電話会議の可能な電子交換機の把握、あるいは、電話会議の可能な電子交換機の中から、空きの会議トランクをもつ電子交換機の選択処理が煩雑になる。

【0006】 そこで、複数の電子交換機から構成されるネットワークの中で、複数の電子交換機に收容される複数の加入者を招集して会議を行うとき、簡単な手順で会議招集を行うことのできる電話会議の接続方法が要求されている。

【0007】

【従来の技術】 図11は従来例のネットワークの構成例を示す。図中の40a、40bは会議トランク45を備える会議サービス提供交換機であり、30a、30bは会議トランクを持たない会議参加交換機である。会議サービス提供交換機40a、40b内の41は中央処理装置、41Aは会議サービス実行制御部、42は主記憶装置、42Aは会議トランク（以下CFTと称する）管理表、43はネットワーク、45はCFT、会議参加交換機30a、30b内の31は中央処理装置、32は主記憶装置、33はネットワークであり、T1～T4は端末である。

【0008】 このような構成において、電話会議の会議招集者は、会議サービス提供交換機40a、40bのいずれかを選択して、会議サービスの実行要求を行う。このとき、会議サービスが実行できるためには、中央処理装置41内に会議サービス実行制御部41AおよびCFT45を備えた会議サービス提供交換機が存在しており、さらにその中のCFT45が空きの状態であることが必要である。

【0009】 図12は従来例の電話会議招集の処理フローチャートを示す。以下、フローチャートのSTEP（以下Sと示す）にしたがってその処理を説明する。

S1；会議招集者は会議サービス提供交換機（図中会議提供交換機と示す）40aに会議の開催を要求する。

【0010】 S2；会議の開催を要求を受信した会議サービス提供交換機40aはCFT管理表42Aを参照してCFT45が空きか否かを判定する。

S3；会議サービス提供交換機40aのCFT45が空いていない場合、CFT使用中のメッセージを会議招集者に送信する。

【0011】 S4；会議招集者はCFT使用中のメッセ

3

ージを受信し、その呼を解放する。

S5; 会議招集者は次の会議サービス提供交換機40bに会議の実行を要求する。

【0012】S6; 会議の開催を要求を受信した会議提供交換機40bのCF T45が空き可否かを判定する。

S7; 会議サービス提供交換機40bのCF T45が空きの場合、会議実行可能のメッセージを送信する。

【0013】S8; 会議招集者は会議参加者に会議サービス提供交換機40bの番号を、例えば、会議を招集した呼とは別の呼により、通知する。

S9; 会議参加者は会議サービス提供交換機40bに会議への参加要求を行い、会議に参加(CF T45へ接続)する。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】上述の従来例においては、会議招集者は先ず会議サービス提供交換機40aに会議の開催を要求し、CF T45が他の会議ですで使用されている場合は、その呼を解放して、次の会議サービス提供交換機40bに会議の開催を要求する。

【0015】従来例では、網内に2つの会議サービス提供交換機40a、40bがある例で説明したが、会議サービス提供交換機は2台に限定されるものではない。このような場合に、会議招集者は網内の全ての会議サービス提供交換機を知っておくことが必要であり、会議開催が可能となるまで、会議開催要求を繰り返すことが必要である。

【0016】さらに、会議開催が可能となった会議サービス提供交換機401の番号を、他の会議参加者に、別の呼により通知することが必要である。本発明は複数の交換機に収容される複数の端末を接続して電話会議を行うとき、簡単な手順で、会議参加端末の接続を行うことのできる電話会議の接続方法を実現しようとする。

【0017】

【課題を解決するための手段】図1は本発明の原理を説明する図である。図は本発明の電話会議の接続方法を示す。S1で会議招集端末は会議サービス管理交換機に会議識別番号と電話会議の開催要求を送出し、S2で会議サービス管理交換機は会議サービス実行交換機を抽出して、該会議サービス実行交換機に該会議識別番号と会議開催要求を送出し、S3で会議サービス実行交換機は、会議開催が可能となるとき、会議サービス管理交換機から送信されてくる該会議識別番号、および会議実行中を登録するとともに、会議開催可能を前記会議サービス管理交換機に送出し、S4で会議サービス管理交換機は、会議サービス実行交換機から送られてくる会議サービス実行交換機番号と会議識別番号を登録するとともに、会議招集端末と会議サービス実行交換機を接続する。

【0018】そして、S5で会議参加端末は会議サービス管理交換機に対して会議識別番号と会議参加要求を送出し、S6で会議サービス管理交換機は会議サービス実

4

行交換機と会議参加端末とを接続して会議を行う。

【0019】

【作用】会議招集者は端末から会議サービス管理交換機に対して会議開催要求を送出すると、会議サービス管理交換機は、会議開催可能な会議サービス実行交換機を選定し、会議サービス実行交換機に会議識別番号と会議開催要求を送出する。

【0020】会議サービス実行交換機はCF Tが空き状態で会議開催が可能な場合、会議識別番号と会議実行中を登録し、会議開催が可能であることを会議サービス管理交換機に通知する。会議開催が可能を受信した会議サービス管理交換機は会議招集端末を会議サービス実行交換機に接続し、会議開催が可能な状態とする。

【0021】ここで、会議参加者は端末から会議サービス管理交換機に対して、会議識別番号と会議参加要求を送出することにより、会議参加端末は会議招集者が接続された会議サービス実行交換機の会議トランクに接続され会議可能な状態となる。(請求項1)

また、会議サービス実行交換機はCF Tが空き状態で会議開催が可能な場合、会議識別番号と会議実行中を登録し、会議サービス実行交換機の識別番号を会議サービス管理交換機に送出し、会議サービス管理交換機は会議招集端末が収容される会議参加交換機に会議サービス実行交換機の識別番号を送出して、会議サービス実行交換機、会議参加交換機との接続を断とする。

【0022】ここで、会議招集端末を収容する会議参加交換機は、自動的に会議サービス実行交換機番号と会議識別番号で発信することにより、登録されている会議識別番号の会議に接続する。会議参加者も端末から同様の手順で会議サービス実行交換機の会議に接続する。このように、会議サービス実行交換機の識別番号を通知後、接続を断とし、会議招集者、会議参加者の端末からの発信により、会議サービス実行交換機のCF Tへの接続は、網のルーティング機能に委ねることにより、最適ルーティングで接続することができる。(請求項2)

【0023】

【実施例】図2は本発明の実施例を説明するブロック図(1)である。図は、請求項で記載した接続手順を実現させるための構成をもつ電子交換機である。

【0024】(A)は会議サービス管理交換機10の構成を示し、11は中央処理装置で各種交換処理を行うものであり、会議サービスの管理を行う会議サービス管理制御部11Aを備えている。12は主記憶装置で各種交換処理プログラムが書き込まれるとともに、会議サービスとしての会議識別番号(以下ID番号と称する)と会議サービス実行交換機情報を蓄積する会議サービス管理表12Aと会議サービスを実行する会議サービス実行交換機を登録する会議サービス実行交換機(図中サービス交換機と示す)登録表12Bを設けている。また、13は指定の端末、回線を接続するためのネットワーク、1

5

4は他局との接続を行うための中継トランクである。

【0025】(B)は会議サービス実行交換機20の構成を示し、21は中央処理装置で各種交換処理を行うものであり、会議サービスの実行を制御する会議サービス実行制御部21Aと、請求項2における時間管理を行うためのタイマ21Bを設けている。22は主記憶装置で各種交換処理プログラムが書き込まれるとともに、会議サービスとしての会議サービス実行中のID番号を管理する会議サービス実行表22AとCFTの空塞状態を記録しておくCFT管理表22Bを設けている。また、2

【0026】図3は本発明の実施例を説明するブロック図(2)である。図は会議招集者、会議参加者の端末を収容する会議参加交換機30であり、31は中央処理装置、31Aは会議の招集、会議の参加を制御する会議サービス制御部であり、32は主記憶装置、33はネットワーク、34は中継トランクである。

【0027】図4は本発明のネットワークの構成例を示す。図は会議サービス管理交換機10、会議サービス実行交換機20、会議招集者の端末T1が収容される会議参加交換機30A、会議参加者の端末T2が収容される会議参加交換機30Bからネットワークを構成した例であり、会議サービス管理交換機10、会議サービス実行交換機20、会議参加交換機30A、30Bはそれぞれ図2、図3に説明した構成をもつものである。

【0028】また、図においては、端末T1~T4をそれぞれ会議参加交換機30A、30B、会議サービス管理交換機10、会議サービス実行交換機20に接続しているが、接続される端末は1台に限定されるものではなく、CFT25の許容する接続数内で、任意の台数を接続することが可能である。

【0029】図5は本発明の実施例(1)の処理フローチャート(1)を示す。実施例(1)は請求項1に対応する実施例であり、以下フローチャートにより、実施例(1)の会議招集の処理を説明する。

【0030】S1；会議招集者は会議サービス管理交換機番号(図中会議管理交換機番号と示す)と会議招集①特番、ID番号をダイヤルして発信する。ここで、会議招集特番①は実施例(1)の接続を行うための特番であり、会議招集特番②は実施例(2)の接続を行うための特番である。

【0031】S2；会議サービス管理交換機10は会議招集特番①、ID番号を受信し、会議サービス実行交換機登録表(図中会議サービス交換機登録表と示す)12Bに登録されている会議サービス実行交換機情報を参照して、会議サービスを実行可能な会議サービス実行交換機20を抽出する。

【0032】S3；抽出された会議サービス実行交換機

6

20は自局か否かを判定する。

S4；会議サービス管理交換機10は会議サービス実行交換機20の番号、会議招集①特番、ID番号で発信する。

【0033】S5；会議サービス実行交換機20はCFT管理表22Bを参照して、空きのCFT45を捕捉できたとき、会議サービス実行表22AにそのID番号を登録し、該ID番号対応の会議を実行中とする。

【0034】S6；会議サービス実行交換機20は会議サービス管理交換機10とCFTとを接続する。

S7；会議サービス実行交換機20は会議サービス管理交換機10にCONNメッセージのユーザ・ユーザ情報(図中UU情報と示す)により、会議サービス実行交換機20の識別番号を送信する。

【0035】S8；会議サービス管理交換機10は会議サービス管理表12Aに会議サービス実行交換機10の識別番号、ID番号を蓄積する。

S9；S3で会議サービス実行交換機20が自局と判定された場合は会議サービス実行交換機20=会議サービス管理交換機10として、S5以下の処理を実行する。

【0036】この処理により、会議招集者と会議サービス管理交換機10と会議サービス実行交換機20のCFT45が接続され会議開催できる状態に接続される。図6は本発明の実施例(1)の処理フローチャート(2)を示す。フローチャート(2)により、実施例(1)の会議参加の処理を説明する。

【0037】S1；例えば、会議参加交換機30Bに収容される会議参加者は会議サービス管理交換機10の番号と、会議参加特番と、ID番号で発信する。

S2；会議サービス管理交換機10は会議サービス管理表12AとID番号から会議サービス実行交換機20を抽出する。

【0038】S3；会議サービス管理交換機10は会議サービス実行交換機20に対して、会議参加特番とID番号で発信する。

S4；会議サービス実行交換機20は会議サービス実行表22Aを参照して、該ID番号対応の会議と会議サービス管理交換機20とを接続する。

【0039】以上の処理により、会議参加者の端末T3が会議サービス実行交換機20のCFT45に接続され会議に参加できる状態となる。図7は本発明の実施例(1)の処理フローチャート(3)を示す。フローチャート(3)により、実施例(1)の会議終了の処理を説明する。

【0040】S1；会議サービス実行交換機20のID番号対応の会議招集者を含む全会議参加者の切断を検出する。

S2；会議サービス実行交換機20は該ID番号の会議を終了として、会議サービス実行表22Aの該ID番号を解放する。

7

【0041】S3；そして、会議サービス実行交換機20は会議サービス管理交換機10の番号、会議終了特番、ID番号で発信する。

S4；会議サービス管理交換機10は会議終了特番、ID番号を受信し、会議サービス管理表12Aの会議サービス実行交換機20の情報と該ID番号を解放する。

【0042】以上の処理により、会議サービス管理交換機10の会議サービス管理表12Aから、会議サービス管理交換機20が解放され次の会議に備えることが可能となる。

【0043】図8は本発明の実施例(2)の処理フローチャート(1)を示す。実施例(2)は請求項2に対応する実施例であり、以下フローチャートにより、実施例(2)の会議招集処理を説明する。

【0044】S1；会議招集者は会議サービス管理交換機番号(図中会議管理交換機番号と示す)と会議招集②の特番、ID番号をダイヤルして発信する。ここで、会議招集②の特番は実施例(2)の接続を行うための特番である。

【0045】S2；会議サービス管理交換機10は会議招集特番②、ID番号を受信し、会議サービス実行交換機登録表12Bに登録されている会議サービス実行交換機情報を参照して、会議サービスを実行可能な会議サービス実行交換機20を抽出する。

【0046】S3；抽出された会議サービス実行交換機20は自局か否かを判定する。

S4；会議サービス管理交換機10は会議サービス実行交換機20の番号、会議招集特番②、ID番号で発信する。

【0047】S5；会議サービス実行交換機20はCFT管理表22Bを参照して、空きのCFT45を捕捉してきたとき、会議サービス実行表22AにそのID番号を登録し、該ID番号対応の会議を実行中とする。

【0048】S6；会議サービス実行交換機20は会議サービス管理交換機10にDISCメッセージのユーザ・ユーザ情報により、会議サービス実行交換機20の識別番号を送信する。

【0049】S7；該ID番号対応の会議の時間管理を行うタイマ21Bを起動する。

S8；会議サービス管理交換機10は会議サービス管理表12Aに会議サービス実行交換機10の識別番号、ID番号を蓄積する。

【0050】S9；会議サービス管理交換機10は会議招集者が収容されている会議参加交換機31に、DISCメッセージのユーザ・ユーザ情報により、会議サービス実行交換機20の識別番号を通知し、会議サービス実行交換機20と会議参加交換機31との接続を切断する。

【0051】S10；S3で会議サービス実行交換機20が自局と判定された場合は会議サービス実行交換機2

8

0=会議サービス管理交換機10として、S5以下の処理を実行する。

【0052】この処理により、会議サービス実行交換機20の識別番号情報が会議招集者に通知された状態で接続が切断される。図9は本発明の実施例(2)の処理フローチャート(2)を示す。フローチャート(2)により、実施例(2)の会議参加の処理を説明する。

【0053】S1；会議参加交換機31に収容される会議招集者を収容する会議参加交換機30Aは、ユーザ・ユーザ情報で通知された会議サービス実行交換機識別番号から会議サービス実行交換機20の番号、会議参加特番と、ID番号で自動的に再発信する。

【0054】S2；会議サービス実行交換機20は会議サービス実行表22Aを参照して、受信したID番号の会議に接続する。

S3；会議サービス実行交換機20は該ID番号対応の会議の時間管理を行うタイマ21Bを停止する。

【0055】以上の処理により、会議招集者の端末T1が会議サービス実行交換機20のCFT45に接続される。

S4；会議参加交換機30Bに収容される会議参加者は会議サービス管理交換機10の番号と、会議参加特番と、ID番号で発信する。

【0056】S5；会議サービス管理交換機10は、会議参加特番と、ID番号を受信し、会議サービス管理表12AとID番号から会議サービス実行交換機20を抽出する。

【0057】S6；会議サービス管理交換機10は会議参加交換機30Bに対して、DISCメッセージのユーザ・ユーザ情報で会議サービス実行交換機20の識別番号を送信して、切断する。

【0058】S7；会議参加交換機30Bはユーザ・ユーザ情報から得た会議サービス実行交換機20の識別番号、会議参加特番、ID番号で発信する。

S8；会議サービス実行交換機20は会議サービス実行表22Aを参照して、受信したID番号の会議に接続する。

【0059】以上の処理により、会議招集者の端末T1と会議参加者の端末T2が会議サービス実行交換機20のCFT45に接続され会議に参加できる状態となる。図10は本発明の実施例(2)の処理フローチャート(3)を示す。フローチャート(3)により、実施例(2)の会議終了の処理を説明する。

【0060】S1；図8のS7でタイマ21Bを起動した後、そのタイミング中に会議への参加がなくタイムアウトを検出する。

S2；会議サービス実行交換機20の会議のID番号対応の、会議招集者を含む全ての会議参加者が切断する。

【0061】S3；S1またはS2の何れかが実行されたとき、会議サービス実行交換機20は会議終了として

9

会議サービス実行表 22A の該 ID 番号を解放する。
S4 ;そして、会議サービス実行交換機 20 は会議サービス管理交換機 10 の番号、会議終了特番、ID 番号で発信する。

【0062】S5 ;会議サービス管理交換機 10 は会議終了特番、ID 番号を受信し、会議サービス管理表 12A の会議サービス実行交換機 20 の情報と該 ID 番号を解放する。

【0063】以上の処理により、会議サービス管理交換機 10 の会議サービス管理表 12A から、会議サービス管理交換機 20 が解放され次の会議に備えることが可能となる。

【0064】

【発明の効果】本発明によれば、網内に複数の会議サービス実行交換機が存在する場合でも、会議招集者、会議参加者は端末から網内の 1 つの会議サービス管理交換機に会議招集、会議参加を要求すれば、会議サービス管理交換機が会議の実行可能な会議サービス実行交換機を設定して、接続を行うことにより、電話会議の接続を簡単な手順で行うことができる。

【0065】また、会議サービス管理交換機が設定した会議サービス実行交換機の識別番号を会議招集者、会議参加者に DISC メッセージの UU 情報で送信して切断し、会議招集者、会議参加者は DISC メッセージの UU 情報から得た会議サービス実行交換機に対して発信することにより、ルーティングは網内のルーティング機能に委ねルーティングを最適化することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の原理を説明する図

【図 2】 本発明の実施例を説明するブロック図 (1)

【図 3】 本発明の実施例を説明するブロック図 (2)

【図 4】 本発明のネットワークの構成例

【図 5】 本発明の実施例 (1) の処理フローチャート (1)

10

【図 6】 本発明の実施例 (1) の処理フローチャート (2)

【図 7】 本発明の実施例 (1) の処理フローチャート (3)

【図 8】 本発明の実施例 (2) の処理フローチャート (1)

【図 9】 本発明の実施例 (2) の処理フローチャート (2)

【図 10】 本発明の実施例 (2) の処理フローチャート (3)

【図 11】 従来例のネットワークの構成例

【図 12】 従来例の電話会議招集の処理フローチャート

【符号の説明】

10 会議サービス管理交換機

20 会議サービス実行交換機

30、30A、30B、30a、30b 会議参加交換機

40a、40b 会議サービス提供交換機

11、21、31、41 中央処理装置

12、22、32、42 主記憶装置

13、23、33、43 ネットワーク

14、24、34 中継トランク

11A 会議サービス管理制御部

12A 会議サービス管理表

12B 会議サービス実行交換機登録表

21A、41A 会議サービス実行制御部

21B タイマ

22A 会議サービス実行表

22B、42A CFT 管理表

25、45 CFT

31A 会議サービス制御部

T1~T4 端末

【图 3】

本発明の実施例を説明するブロック図（２）



The diagram illustrates a multi-channel system architecture. It is divided into four main functional blocks: 10, 20, 30A, and 30B.

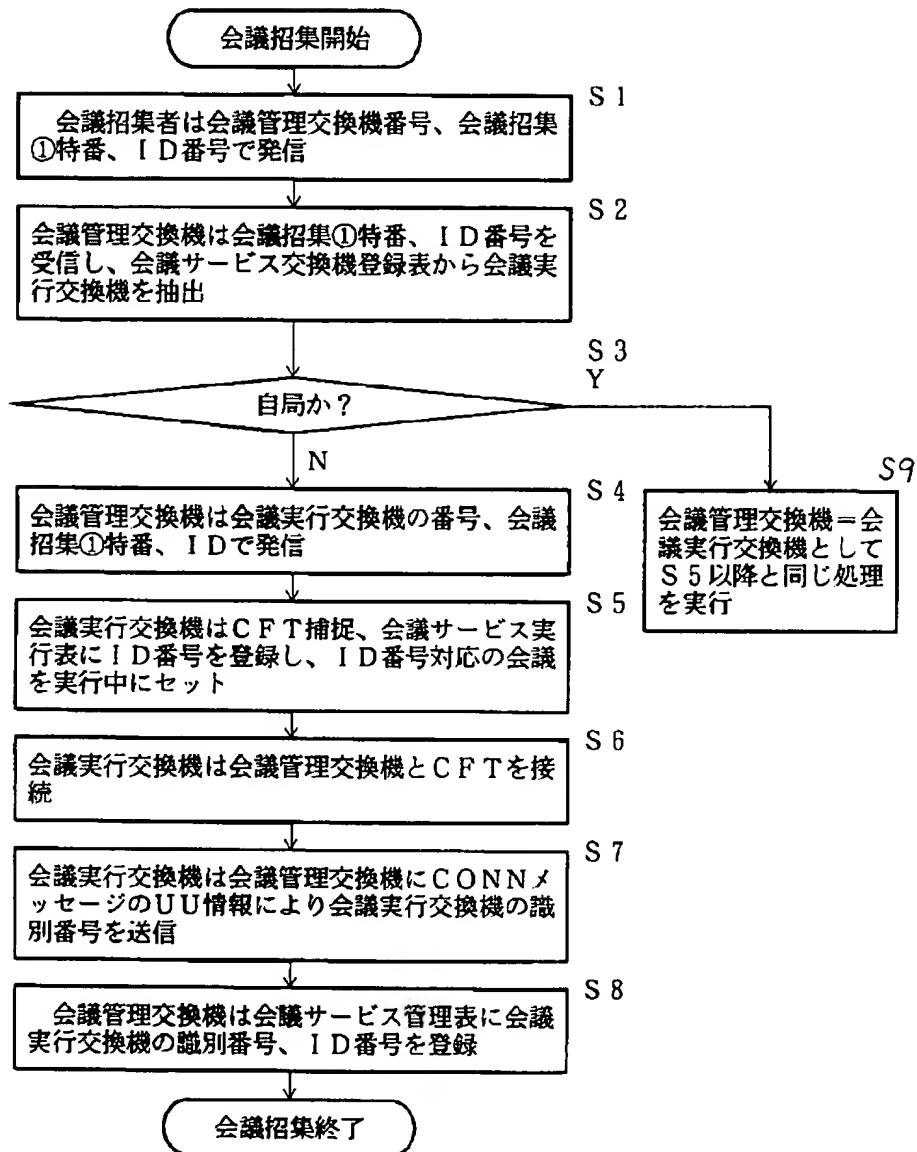
- Block 10:** Contains sub-blocks 11, 11A, 12, 12A, and 12B. It has an external input T3.
- Block 20:** Contains sub-blocks 21, 21A, 21B, 22, 22A, and 22B. It includes a "CFT" (Control Function Test) block. It has an external input T4.
- Block 30A:** Contains sub-blocks 31 and 32. It has an external input T1.
- Block 30B:** Contains sub-blocks 31 and 32. It has an external input T2.

Connections:

- A top horizontal line connects the output of block 10 to the input of block 20.
- Block 10 is connected to block 30A.
- Block 30A is connected to block 30B.
- Block 30B is connected to block 20.
- Block 20 is connected to block 30B.
- Block 20 is connected to block 30A.
- Block 20 is connected to block 30B.
- Block 20 is connected to block 30A.
- Block 20 is connected to block 30B.

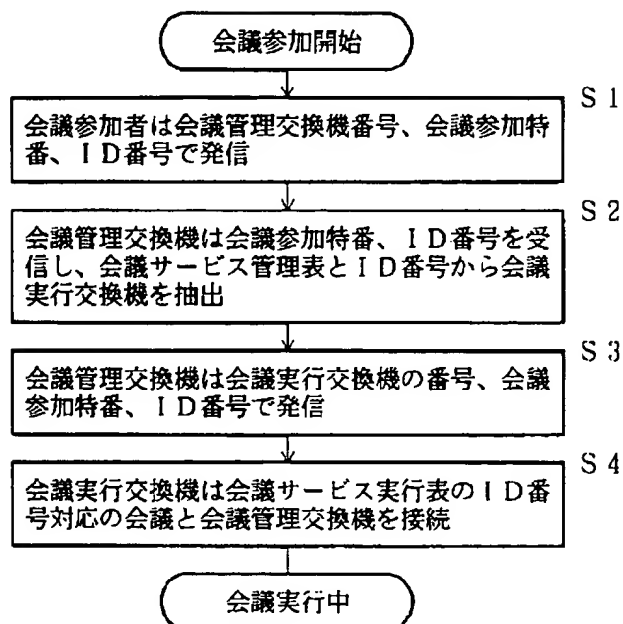
【図5】

本発明の実施例（１）の処理フローチャート（１）



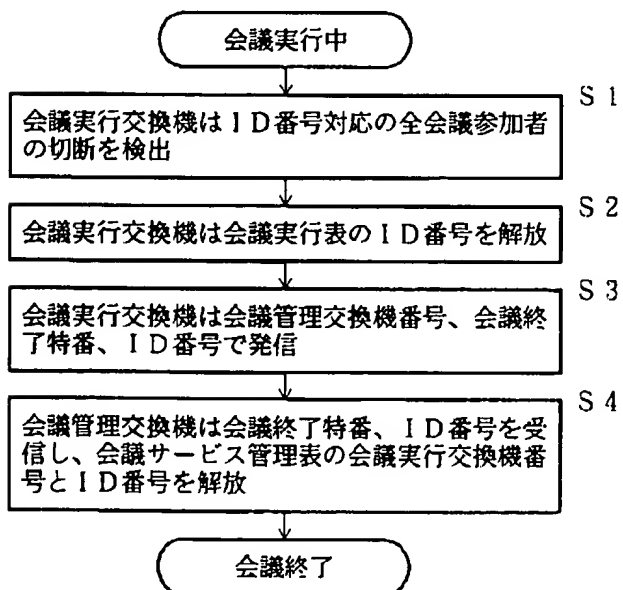
【図6】

本発明の実施例（１）の処理フローチャート（２）



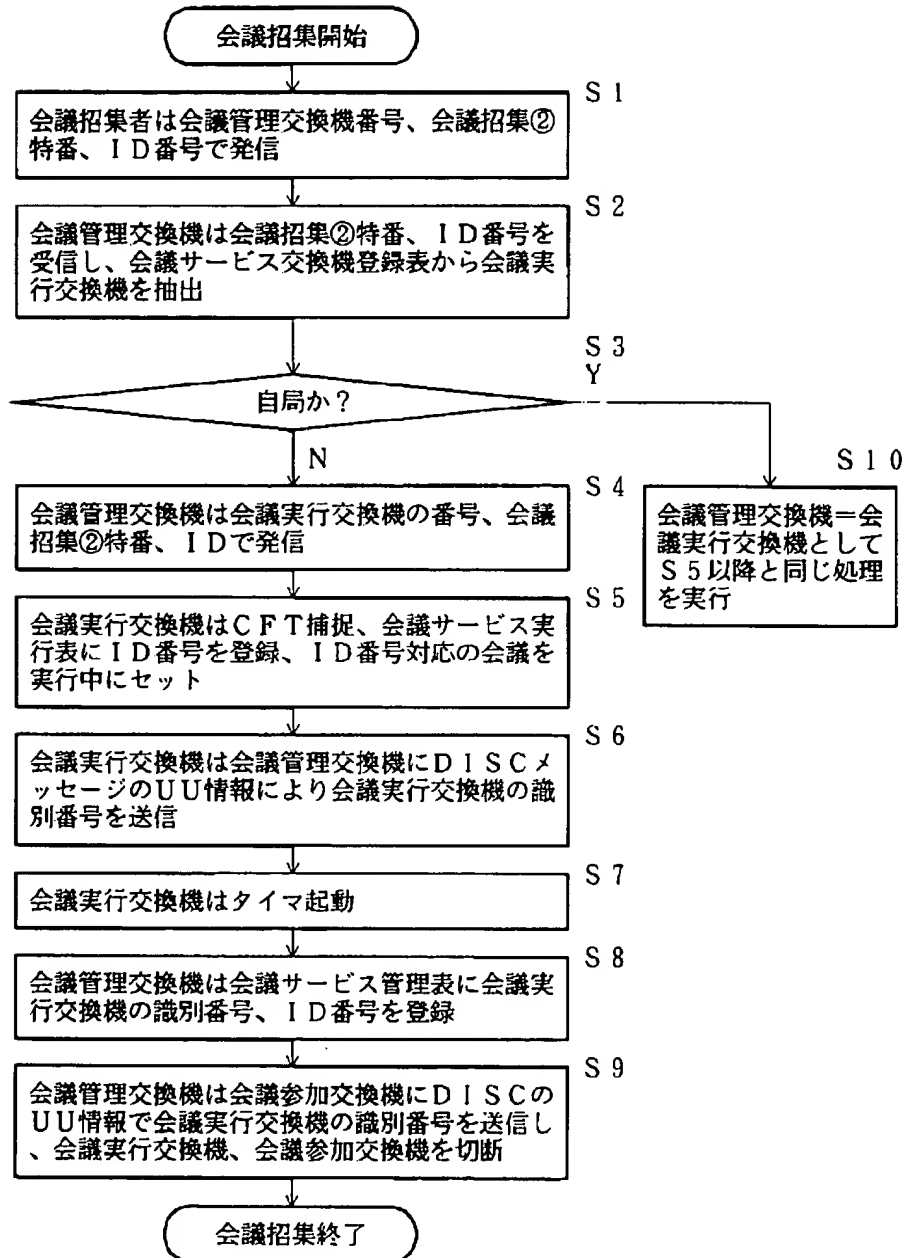
【図7】

本発明の実施例（１）の処理フローチャート（３）



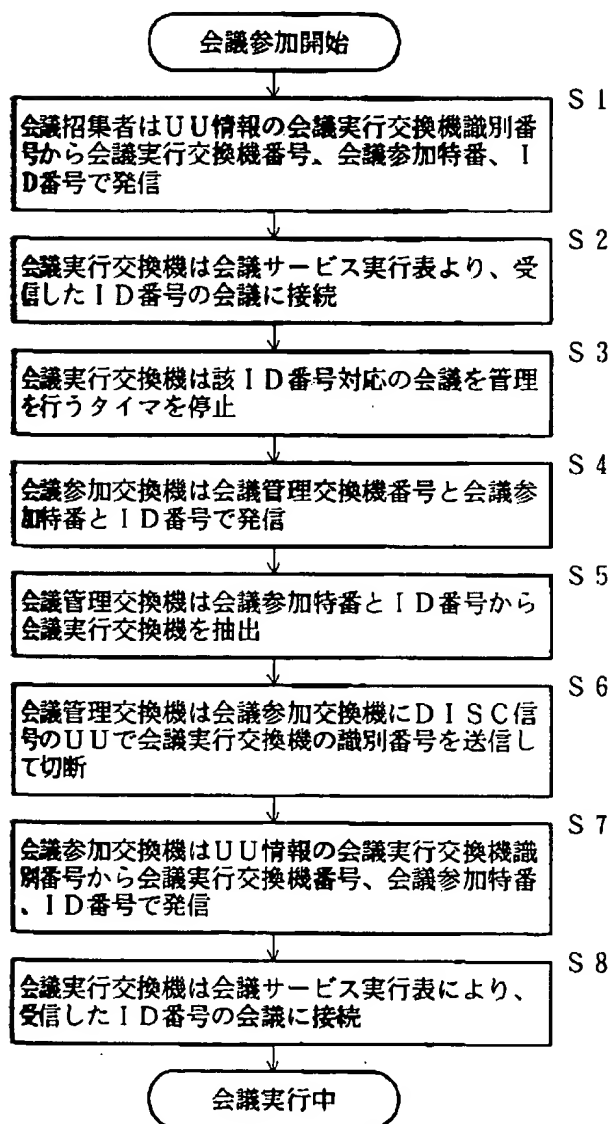
【図 8】

本発明の実施例（２）の処理フローチャート（１）



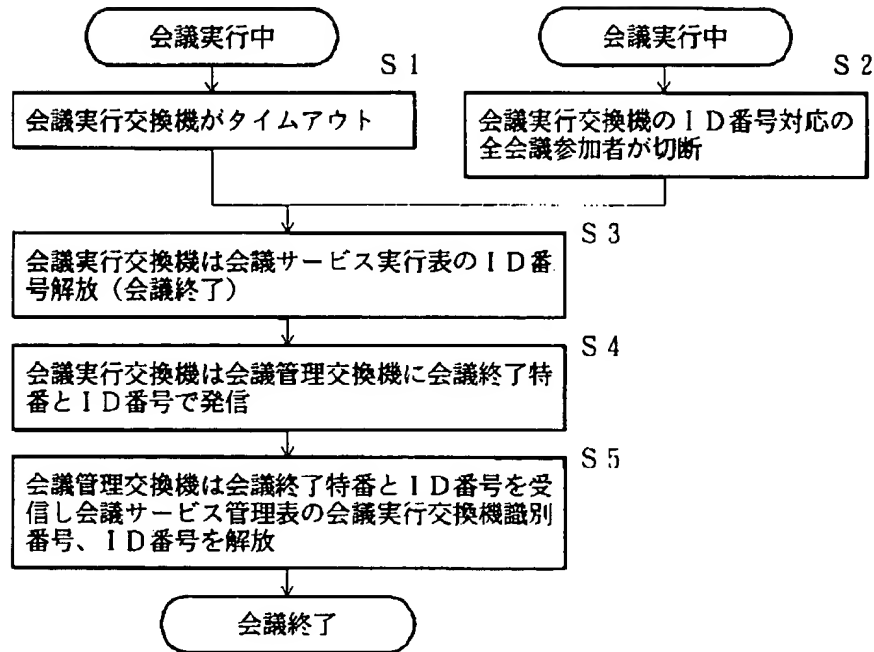
【図 9】

本発明の実施例（２）の処理フローチャート（２）



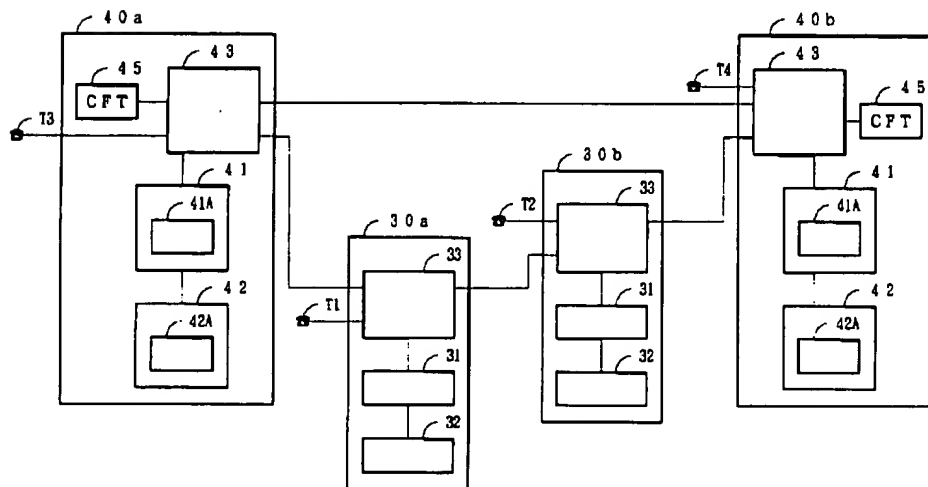
【図 10】

本発明の実施例（２）の処理フローチャート（３）



【図 11】

従来例のネットワークの構成例



【図12】

従来例の電話会議招集の処理フローチャート

